

事 務 連 絡
令和 4 年 9 月 7 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課 御中
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

令和 4 年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記研究協議会を実施要項（別添 1）のとおり開催します。なお、「令和 4 年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会及び高等学校各教科等教育課程研究協議会の開催日程等について」（令和 4 年 4 月 25 日付け事務連絡）で御一報したとおり、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センターが改修工事で使用不可のため、独立行政法人教職員支援機構（つくば本部）の研修施設において実施します。

標記研究協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

記

1 提出資料

（1）参加者名簿

本協議会への参加者について、別添 1～別添 3 を確認の上、別紙様式 1 により提出すること。

（2）教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、別添 4 を確認の上、別紙様式 2 により教育課程に関する質問事項及び都道府県市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

（3）各部会における提出資料

別添 5 及び別添 6 を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

2 提出期限

（1）参加者名簿【別紙様式 1】…9 月 22 日（木）

（2）教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式 2】…9 月 22 日（木）

（3）各部会における提出資料【別紙様式 3～12、その他提出資料】…10 月 12 日（水）

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

3 提出方法

1 の提出資料について、それぞれ下表の左欄の参加者の区分に応じ、右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、1（3）の「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、部会の協議議題ごとに1つのファイル（例：小学校国語部会の協議①の提出資料で1つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で1つのpdfファイル等）にまとめて提出すること。（※詳細は別添5、6参照のこと）

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

4 提出先

（1）参加者名簿【別紙様式1】、（2）教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】

教育課程課教育課程第三係（kyoiku@mext.go.jp）宛てに電子メールで提出すること。

その際、電子メールの件名は、「都道府県・指定都市番号【〇〇県（公）、〇〇市（公）、〇〇大（国）、〇〇大（公）、〇〇県（私）】小中協議会」とする。

（北海道教育委員会の例：01【北海道（公）】小中協議会）

（3）各部会における提出資料【別紙様式3～12、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（kyoiku@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」へアクセスできない場合は、提出ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添5を参照すること。

5 資料について

（1）提出いただいた資料等は、各部会開催日の1週間前までに参加者宛て電子メールにて送付する予定である。参集する者に対して、部会当日に紙媒体の配布は行わないので留意すること。

（2）（1）の電子メールが各部会開催日の1週間前までに届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第三係（山本、高菅）

電話：03-5253-4111（内線3706）

電子メールアドレス：kyoiku@mext.go.jp

令和 4 年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 実 施 要 項

1 目 的

小学校及び中学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する研究協議、情報交換等を行い、もって小学校及び中学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

2 主 催

文部科学省

3 共 催

国立教育政策研究所

4 部会構成

(小学校) 次の 14 部会とする。

「総則」「国語」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「体育」「道徳」「外国語活動・外国語」「総合的な学習の時間」「特別活動」

(中学校) 次の 13 部会とする。

「総則」「国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「技術・家庭」「外国語」「道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」

※総則部会、総合的な学習の時間部会については、小・中学校合同開催とする。

※中学校技術・家庭部会については、技術分野と家庭分野で別日とする。

5 期 日 等

	9 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0 (受付 9 : 0 0)	1 0 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 (受付 9 : 3 0)
1 1 月 7 日 (月)	小・生活、小・家庭	小・算数、小・図画工作、 小・外国語活動・外国語
1 1 月 8 日 (火)	中・家庭、中・外国語、 中・特別活動	中・数学、中・美術
1 1 月 9 日 (水)	中・国語	小・音楽、小・特別活動
1 1 月 1 0 日 (木)	小・国語	中・音楽
1 1 月 1 1 日 (金)	中・技術	小中・総則
1 1 月 1 4 日 (月)	小中・総合的な学習の時間	
1 1 月 1 5 日 (火)	小・道徳	
1 1 月 1 6 日 (水)	中・道徳	中・社会
1 1 月 1 7 日 (木)	小・社会	小・理科、中・保健体育
1 1 月 1 8 日 (金)	小・体育	中・理科

※日程の詳細は、各部会開催日の 1 週間前までに参加者宛て電子メールにて連絡する。

※開会前・閉会後の公共交通機関及び会場周辺の混雑回避の観点から、上表のとおり開閉会時刻をずらして開催する。

※閉会の後、混雑回避（路線バス乗車時刻の分散）にも資するよう、最大 17:00 までの間、参集者対象・参加任意（入退室自由）のフリータイムを設ける予定である。担当視学官・調査官への質問や、参集者間での情報交換・意見交換等を想定するが、その持ち方については各部会当日に事務局よりアナウンスする。

6 開催方法

協議会は、Zoomを使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、オンライン開催に変更する可能性がある。

7 会 場

独立行政法人教職員支援機構研修棟

（〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地、TEL:029-879-6613）

※各部会の会議室割り当ては後日連絡する。なお、参集者数によっては、二部屋に分かれて実施する部会がある。

8 参加者等

(1)参加対象者

①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において以下の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

※本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においたものであり、協議内容も指導主事としての立場を踏まえた内容とする予定である。国立・公立大学法人附属学校及び都道府県私立学校担当部局、私立学校協会、私立学校等におかれては、そのような位置付けの協議会であることを理解の上、参加の可否を検討されたい。

(2)参加人数

参加者名簿に登録する者（協議に参加し、発言する者）については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法（参集又はオンライン）を選択すること。なお、ハイブリッド形式での開催に伴い、上記(1)に該当する他の者がオンラインでの参加者に陪席し、協議会の運営に支障のない形でその様子を傍聴することは差し支えないが、ミーティングへの接続（アクセス）数は、参加者名簿の登録者数に合わせることを。

- ・1部会につき1名とする。
- ・中学校技術・家庭部会については、技術分野と家庭分野で別日とするため、技術分野担当、家庭分野担当各1名とする。
- ・総則部会、総合的な学習の時間部会については、小・中学校合同開催とするため、合計2名が参加することも可能とする。
- ・特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。

会場参集参加に係る連絡事項

1. 会場へのアクセス

- ・会場は、独立行政法人教職員支援機構（つくば本部）（以下「施設」）内の研修棟です。
- ・公共交通機関、自家用車での来場については、それぞれ教職員支援機構ホームページを参照ください。
(教職員支援機構ホームページ：<https://www.nits.go.jp/access/>)
- ・路線バス利用の場合、時間によっては混雑も予想されますので、余裕をもった旅程を検討ください。
- ・施設内の駐車場の利用を希望する場合は、別紙様式 1 によりお知らせください。

＜施設内の駐車場の利用について＞

- ・料 金：1 日あたり 2 2 0 円（前泊する場合は 2 日間分の利用となります）
- ・支払方法：釣銭のないよう用意の上、部会当日の受付時に部会担当者にお支払いください。
- ・その他：希望者へは事前に「駐車場許可証」をメール送付しますので、印刷し、当日フロントガラスに表示してください。

2. 昼食弁当の注文について

現在施設内の食堂は休止中です。希望者には弁当を手配しますので、以下の内容を確認の上、別紙様式 1 により希望の有無をお知らせください。なお、施設周辺にはコンビニエンスストアや飲食店もありますので、各自で準備いただくことも可能です。

- ・販 売 元：株式会社オーガファーム
- ・金 額：550 円（日替わり弁当 1 種類のみ）
- ・支 払 方 法：現金のみの支払い（釣銭のないよう用意ください）
- ・販売場所・方法：後日連絡

※キャンセルの場合は、原則として各部会開催日の 1 週間前までに、教育課程第三係まで連絡ください。

3. 施設内宿泊棟への宿泊について

以下の内容を十分に確認の上、施設内宿泊棟の利用を希望する場合は、別紙様式1により宿泊希望をお知らせください。なお、別紙のとおり、つくば駅周辺の宿泊施設の情報をまとめているので、必要に応じて参照ください。

①宿泊予約について

- ・施設内宿泊棟への宿泊希望は、別紙様式1に基づき、教育課程第三係でとりまとめ、予約を行います。
- ・宿泊は前泊に限らせていただきます。複数の部会に参加するため連泊を希望する場合、別紙様式1の備考欄に「連泊」と記載してください。
- ・原則として第2・3宿泊棟から優先的に部屋の割り当てを行いますが、第1宿泊棟を希望する場合は、別紙様式1の備考欄に「第1宿泊棟希望」と記載してください。
- ・各棟定員がありますので、希望者の人数によっては調整させていただく可能性があります。調整を要する場合の連絡は、各都道府県等の連絡担当者を通じて行います。
- ・諸事情によりキャンセルする場合は、原則として各部会開催日の1週間前までに、教育課程第三係まで連絡ください。

②部屋について

以下のとおり、2タイプの部屋があります。

区分	料金(1泊)	広さ	設備
第1宿泊棟	3,300円	8.55㎡(約5畳)	机、イス、ロッカー、ベッド、収納棚、冷蔵庫 ※洗面所及び御手洗いは共用。
第2・3宿泊棟	4,100円	13.5㎡(約8畳)	机、イス、ロッカー、ベッド、収納棚、冷蔵庫、洗面所、御手洗い

※各フロアに給湯室（電子レンジ、電気ポット）があります。

※第1宿泊棟は98室、第2・3宿泊棟は各棟50室です。

※各部屋に風呂、シャワーはありませんので、浴室棟又は第1宿泊棟のシャワー室を使用ください。

※以下の事項について、チェックアウトまでに宿泊者各自で行っていただく必要があります。

- ・寝具類の整理整頓、シーツ類の準備及び返却
- ・各部屋の清掃、机等の消毒（各所に用意してある消毒液を使用ください）
なお、宿泊棟内のシャワー室、給湯室等の共用部分は、教職員支援機構の委託業者が清掃・消毒を行います。

③チェックイン時間等について

- ・宿泊者への鍵の受渡しは19:00～21:00に行います。鍵の受渡し場所は後日連絡します。
- ・外出する場合の門限は22:00となっています。
- ・チェックアウトの時間・方法については、後日連絡します。

④宿泊料金の支払いについて

- ・ 各部会受付時に集金します。連泊する場合も、一日ずつお支払いください。
- ・ 支払いは現金のみです。釣銭のないように用意ください。
- ・ 領収証明書は発行されませんので、貴自治体等の会計処理上、支障がないか確認してください。

⑤各種施設等の利用時間について

施設内の運営状況は下表のとおりです。

食堂, 食堂売店< <u>営業休止中</u> > ※食事会場としては利用可	開放時間 7:00～21:30
宿泊棟談話室<休止中>	
浴室棟	17:30～23:00 (23:00 に施錠) ※ボディソープ、リンスインシャンプー、ドライヤーあり。 <u>タオルは各自持参ください。</u>
シャワー室 (第1 宿泊棟内)	6:30～8:00, 17:30～22:00 ※ボディソープ、リンスインシャンプー、ドライヤーあり。 <u>タオルは各自持参ください。</u>
洗濯棟	7:00～23:00 (23:00 に施錠) ※洗剤は各自準備ください。
自転車の利用 (50 台)	6:00～22:00 ※利用希望者は守衛室で鍵を借りてください。

(別紙)

<参考：つくば駅、研究学園駅周辺の主な宿泊施設>

つくば駅、研究学園駅周辺の主な宿泊施設をまとめましたので、参考添付します。利用の際には、各自で空き状況を確認の上、予約手続きを行っていただくようお願いします。

	宿泊施設名	最寄り駅までの 距離	NITS までの 距離	客室数
1	アーバンホテルつくば (茨城県つくば市筑穂 2-1-2) https://www.urbanhotel.co.jp/	つくば駅 約 8 km	0.4 km	80 室
2	ダイワロイネットホテルつくば (茨城県つくば市吾妻 1-5-7) https://www.daiwaroynet.jp/tsukuba/	つくば駅 約 0.4km	7.2 km	240 室
3	ホテル日航つくば (茨城県つくば市吾妻 1 丁目 1364-1) https://www.nikko-tsukuba.com/	つくば駅 約 0.4km	7.6 km	164 室
4	ホテルつくばヒルズ学園西大通り店 (茨城県つくば市東新井 8-7) https://breezbay-group.com/tsukuba-hills/	つくば駅 約 1.2km	7.6 km	68 室
5	ホテル ルートつくば (茨城県つくば市花室 1145-3) https://www.route-tsukuba.jp/	つくば駅 約 1.5km	9.1 km	78 室
6	ホテルグランド東雲 (茨城県つくば市小野崎 488-1) https://www.hg-shinonome.co.jp/	つくば駅 約 1.6km	7.4 km	115 室
7	ホテルベストランド (茨城県つくば市研究学園 5-8-4) https://www.hotel-bestland.co.jp/	研究学園駅 約 0.1km	6.2 km	110 室
8	東横 INN つくばエクスプレス研究学園駅北口 (茨城県つくば市研究学園 5-13-7) https://www.toyoko-inn.com/index.php/search/detail/00228	研究学園駅 約 0.8km	6.3 km	197 室
9	ホテルワークマンつくば研究学園 (茨城県つくば市研究学園 5-13-5) https://mark-1.jp/tsukuba/	研究学園駅 約 0.8km	6.4km	160 室
10	アパホテル〈つくば万博記念公園駅前〉 (茨城県つくば市島名 4383) https://www.apahotel.com/hotel/syutoken/ibaraki/tsukuba-bampaku-kinenkoen-ekimae/	万博記念公園駅 約 0.7km	10.5 km	172 室

参加者名簿【別紙様式1】の作成及び提出方法について

1 作成について

以下の①～⑪の要領で、別紙様式1により参加者名簿を作成すること。

- ① 1列目には都道府県・指定都市番号を半角数字で、2列目には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも全員について記入することとし、空白や「」などとはしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ② 3列目にはドロップダウンリストから国立、公立、私立を選択すること。
- ③ 4列目には氏名を、5列目にはふりがなを、6列目には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で1文字空けること。
- ④ 7列目にはドロップダウンリストから部会名を選択して記入すること。後日、部会ごとの参加者名簿を作成するため、部会名については必ずドロップダウンリストから選択し、誤りがないよう記載すること。
※中学校技術・家庭部会は、技術分野・家庭分野で選択肢が分かれているので、特に誤りがないよう記載すること。
- ⑤ 8列目にはドロップダウンリストから参加方法を選択して記入すること。
- ⑥ 9列目には参加者本人に連絡可能なメールアドレスを記載すること。後日、このメールアドレスに部会ごとの資料等を各部会開催前に電子データで送付するので、必ず参加者本人に連絡できるメールアドレスを記載すること。
- ⑦ 10列目には特記事項があれば記載すること。

《以下、参集者のみ》

詳細は別添2を参照し、記入すること。

- ⑧ 11列目には、ドロップダウンリストから教職員支援機構施設内の駐車場の利用希望の有無を記入すること。利用希望者は、12列目に車種・ナンバーを記入すること。
- ⑨ 13列目には、ドロップダウンリストから昼食弁当の注文希望の有無を記入すること。
- ⑩ 14列目には、ドロップダウンリストから教職員支援機構施設内の宿泊棟への宿泊希望の有無を記入すること。
- ⑪ 15列目には、第1宿泊棟を希望する場合は「第1宿泊棟希望」と、複数の部会に参加するために連泊を希望する場合は「連泊」と記載するとともに、その他参に係る特記事項があれば記載すること。

<留意事項>

- 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「?」とし、併せてPDF化した名簿をメールで送信すること。
- 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は行わないこと。

2 提出方法について

教育課程課教育課程第三係（koyoiku@mext.go.jp）宛てに電子メールで提出すること。

○ 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会参加者名簿

<記入例>01【北海道（公）】小中協議会参加者名簿

- ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】小中協議会参加者名簿

<記入例>10【群馬大（国）】小中協議会参加者名簿

- ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会参加者名簿

<記入例>20【長野県（私）】小中協議会参加者名簿

3 その他

○ 都道府県・指定都市番号について

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市
49 仙台市	50 さいたま市	51 千葉市	52 川崎市
53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市	56 静岡市
57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市
65 北九州市	66 福岡市	67 熊本市	

※ 国公立大学法人については、事務局本部が所在する都道府県番号を使用するものとする。

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式 2】
の作成及び提出方法について

1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

2 作成について

- 別紙様式 2 により、各部会の質問事項をまとめて 1 つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号（別添 3 参照），都道府県市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して文部科学省に質問がある場合は部会ごとに 3 問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府県市等としての考え方を記述すること。

3 提出方法について（質問事項がない場合は提出不要）

教育課程課教育課程第三係（kyoiku@mext.go.jp）宛てに電子メールで提出すること。

○添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会質問事項

<記入例>01【北海道（公）】小中協議会質問事項

- ・国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】小中協議会質問事項

<記入例>10【群馬大（国）】小中協議会質問事項

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会質問事項

<記入例>20【長野県（私）】小中協議会質問事項

各部会における提出資料の作成及び提出方法について

1 作成について

- 別添 6 を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号（別添 3 参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。
- 国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等からの参加者については、作成可能な資料は作成し、提出すること。

2 提出方法について

教育課程課教育課程第三係より、連絡担当者に対してクラウドストレージサービス「Box」へのコラボレータ招待メールを送付する。連絡担当者は、「Box」内の各部会フォルダに提出ファイルを格納し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係(kyoiku@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。ただし、コラボレータ招待への承認ができず「Box」へアクセスできない場合は、提出ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

- ・ 小学校：<https://mext.box.com/s/n0girntjub560na3lyssqtxaqba8z3r6>
- ・ 中学校：<https://mext.box.com/s/nz5ondtrdzrergx5l2vmftm7a8mpssrt>

※小・中学校合同で実施する総則部会、総合的な学習の時間部会については、小学校フォルダ内の各フォルダに提出すること。

※別途の指定がない限り、部会の協議題ごとに 1 つの pdf ファイル（例：小学校国語部会の協議①で 1 つの pdf ファイル, 小学校国語部会の協議②で 1 つの pdf ファイル等）にまとめて提出すること。

- 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会提出資料（部会名）

<例> 01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小国語）

01【北海道（公）】小中協議会提出資料②（小国語）

- ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】小中協議会提出資料（部会名）

<例> 10【群馬大（国）】小中協議会提出資料①（小国語）

10【群馬大（国）】小中協議会提出資料②（小国語）

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会提出資料（部会名）

＜例＞20【長野県（私）】小中協議会提出資料①（小国語）

20【長野県（私）】小中協議会提出資料②（小国語）

※提出資料①②は，それぞれ協議①②の提出資料であることを示している。「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし，協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

＜例＞01【北海道（公）】小中協議会その他提出資料（小国語）

01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小国語）補足資料

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小中学校 総則部会

協議①			
	協議題	学習指導要領の趣旨の実現に向けた、教育委員会(※)の施策や学校における組織的な取組の好事例を域内の教育委員会や学校に横展開していくための今後の推進方策について (※)都道府県においてはその域内も含む 【取組の観点の例】 ・社会に開かれた教育課程 ・カリキュラム・マネジメント ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・指導と評価の一体化 など	
	提出資料	①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の好事例、②当該好事例を域内の教育委員会や学校に横展開していくための今後の推進方策について、別紙様式4によりまとめてください。	
	作成様式	別紙様式4	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県・指定都市教育委員会等において、これまで実施してきた、①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の好事例、②当該好事例を域内の教育委員会や学校に横展開していくための今後の推進方策について、できるだけ具体的に記入してください。 ・①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の好事例については、様子が分かる資料などがあれば、画像などで示してください。 ・②好事例を域内の教育委員会や学校に横展開していくための今後の推進方策の記入に当たって、具体的な取組が行われている場合には、その内容を記入いただき、そうでない場合には検討状況や考える取組について記入してください。また、課題があれば併せて御記入ください。 ・ページ数の上限はありません。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料	各都道府県・指定都市教育委員会等において、上記①教育委員会の施策や学校における組織的な取組の関連資料を作成している場合に提出してください。	
	作成様式	任意様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・既存の資料をそのまま提出してください。教育委員会のホームページ等に掲載されている場合には、URLを御教示ください。 ・提出資料の1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示) 中学校学習指導要領(平成29年告示) 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1413522_001.pdf https://www.mext.go.jp/content/1413522_002.pdf https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_001.pdf https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 国語部会			
協議①			
	協議題		小学校国語科における「話すこと・聞くこと」の授業づくりの実際
	提出資料		○貴管内で行われた「話すこと・聞くこと」の授業実践の中から、資質・能力の育成にむけて学習過程や学習材等について工夫の見られる実践事例について、学習指導案の形式で1事例をご提出ください。その際、資料の冒頭に工夫のポイント(好事例としての理由等)を簡潔にお示しください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・実践事例の提示が困難な場合は、貴教育委員会等で作成した指導事例、アイデア例でも構いません。 ・できれば、1人1台端末を効果的に活用した事例としてください。
協議②			
	協議題		小学校国語科における「指導と評価の一体化」のための学習評価 ～「主体的に学習に取り組む態度」を中心に～
	提出資料		○貴管内で行われた「指導と評価の一体化」のための学習評価に関し、以下①、②について適宜項目を立て合わせてA4判4ページ程度でまとめるとともに、③の資料等を添付してご提出ください。 ①「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価が適切に行われている実践事例に係る「指導と評価の計画」、実際の評価の様子等 ②貴教育委員会等主催による学習評価に関する研修の概要 ③②の研修で活用した資料等
	作成様式		①と② 別紙様式3 ※共通様式 ③ 任意様式 ※留意事項あり
	提出資料作成に当たっての留意事項		【①について】 ・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】』の事例2を参考に、「単元の評価規準」、「指導と評価の計画」等で3観点含む全体像を簡潔に示した上で、「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価のポイントが分かるようまとめてください。「実際の評価の様子」については、事例2の(3)「主体的に学習に取り組む態度」の評価(P.56～58)を参考に、「おおむね満足できる状況」(B)の具体の姿をどのように想定したか、実際にどのように指導し、児童を評価したかなどが分かるようにまとめてください。 ・実践事例の提示が困難な場合は、貴教育委員会等で作成した指導事例、アイデア例でも構いません。 ・できれば、学習履歴を振り返るなど1人1台端末を効果的に活用した事例としてください。 【②について】 ・昨年度以降実施した研修ないし今年度予定する研修のうち主なものについて、学習評価に係る貴教育委員会等としての課題認識を提示いただき、その課題解消に向けてどのような研修を行っているのか、その概要をまとめてください。なお、学校評価に関する「研修」を実施・予定していない場合には、域内の市町村教育委員会や学校に対する「指導・助言」の内容について同様にまとめてください(その場合、③は「②の指導・助言に際して活用した資料等」となります。) 【③について】 ・様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。ホームページ等で公開されている資料等であれば、そのリンク先等もお示しください。
その他部会当日に手元を用意しておく持参資料	①	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf
	②	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20210601-mxt_kyoiku01-100002607_002.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 社会部会

協議①			
協議題		小学校社会科における1人1台端末の効果的な活用について	
提出資料		域内の実践事例のうち、「単元の目標の実現に向かって効果的に活用されている事例」を指定の様式に整理して提出してください。	
作成様式		別紙様式5	
提出資料作成に当たっての留意事項		・事例の選定に当たっては、次の観点に留意してください。 単元や本時の目標の実現のための「効果的な活用が明確になっていること」「ICT端末を活用する場面が絞られていること」「具体的な活用がイメージされていること」 ・作成資料の右上に、【都道府県・指定都市番号】【都道府県市名(学校名)】【担当指導主事名(氏名)】を記載してください。 ※作成に当たっての参考資料 ・「GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の指導について」 ・初等教育資料2021, 12月号特集Ⅰ「1人1台端末の効果的な活用」 ※当日の協議に向けて、学校現場での状況と課題についても整理してきてください。	
協議②			
協議題		主権者として求められる資質・能力を育む教育の推進に関する取組について	
提出資料		提出資料は不要です。 ※当日は、①主権者として求められる資質・能力を育成する観点からの授業実践の実際、②政治の働きへの関心を高める内容の改善・充実を受けた学校現場での授業実践の実際について、事例などをもとに行政説明した後に、協議を行います。	
作成様式			
提出資料作成に当たっての留意事項		※参考資料: 初等教育資料2022年7月号 特集Ⅱ「学習指導要領における指導のポイント[社会]」参照	
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	・「GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の指導について」 ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編 (・参考資料: 初等教育資料2021, 12月号特集Ⅰ「1人1台端末の効果的な活用」)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	・「GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の指導について」 https://www.mext.go.jp/content/20210625-mxt_kyoiku01-000015438_rs.pdf ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編 https://www.mext.go.jp/content/20201203-mxt_kyoiku01-100002608_3.pdf
	②	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20201203-mxt_kyoiku01-100002608_3.pdf
	③	資料名	「主権者として求められる力」を子どもたちに育むために: 小・中学校向け主権者教育指導資料 (※9月中下旬頃、文部科学省HPにて公開予定)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	【文部科学省HP】 各教科等に関する教材や資料集等のウェブサイトについて> 主権者教育 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1394142.htm

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 算数部会

協議①			
協議題		小学校算数科におけるデータの活用の授業の具体例	
提出資料		小学校算数科の「データの活用」の授業の具体例を、A4判4ページまでに項目を立ててまとめてください。	
作成様式		別紙様式6[小学校算数 データの活用]	
提出資料作成に当たっての留意事項		・提出資料に関わり、以下の項目でお示しください。 ○本事例のポイント 1. 授業の学年・単元名(内容のまとまり) 2. 単元の目標(学習指導要領の対応) 3. 本単元の簡単な指導計画(本時の位置が分かる程度のもの)、 4. 本時の目標(できれば思考力, 判断力, 表現力等の育成をねらいとしたもの) 5. 本時の展開(この中に、本時において想定される子供のつまずきと、その子供に対する指導の工夫を示してください。) 6. 本時の評価 (ある児童の具体的な記述を基にした評価例)	
協議②			
協議題		小学校算数科における1人1台端末の効果的な活用について	
提出資料		小学校算数科において、本時に育成したい資質・能力(特に思考力, 判断力, 表現力等)を個に応じて育成するため、1人1台端末を効果的に活用した具体例をA4判4ページまでに項目を立ててまとめてください。	
作成様式		別紙様式7[小学校算数 1人1台端末]	
提出資料作成に当たっての留意事項		・提出資料に関わり、以下の項目でお示しください。 ○本事例のポイント(使用した端末, アプリなども書いてください) 1. 授業の学年・単元名(内容のまとまり) 2. 単元の目標(学習指導要領の対応) 3. 本単元の簡単な指導計画(本時の位置が分かる程度のもの) 4. 本時の目標(思考力, 判断力, 表現力等の育成をねらいとしたもの) 5. 本時の展開(この中に、本時において想定される子供のつまずき, その子供のつまずきに対して1人1台端末が貢献する活動を示してください。) 6. 本時の評価 (ある児童の具体的な記述を基にした評価例)	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料		各地域内において 1. 算数を単独の研究教科としている学校の数 2. 学校の名称(3校程度)及び研究内容 について、A4判1ページ程度で簡潔にまとめてください。	
作成様式		別紙様式8[小学校算数 情報共有]	
提出資料作成に当たっての留意事項		・指導主事の皆様方から「他県における優れた実践が知りたい」というご要望が多いので、集めることとします。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編」
		用意しておく箇所	全部 データとして手元にあればよい。
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校算数】
		用意しておく箇所	全部 データとして手元にあればよい。
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sansu.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会

【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 理科部会

協議①			
	協議題	単元の指導と評価の計画について	
	提出資料	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料「小学校理科」を参考に、以下の項目が分かるようにして、指導と評価の計画を1つ、A4判2ページ以内で作成してください。 ・「1 単元の目標」、「2 単元の評価規準」、「3 指導と評価の計画」(時間 ねらい・学習活動 重点記録 備考 等)	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・単元は各自設定してください。ただし、上記参考資料内の事例1から4とは異なる単元にしてください。 ・重視する問題解決の過程や、観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選、評価方法の工夫を意識して、それらも記入ください。 ・提出資料作成のために、改めて学校等に協力を依頼することなく、これまでに把握されている実践を適宜参考にしながら、モデルとなる計画を本部会の参加者御自身で作成してください。	
協議②			
	協議題	授業(観察、実験などを含む)での新型コロナウイルス感染症対策への対応について	
	提出資料	・各地域の状況を基に、感染症対策に係る各教育委員会・各学校における取組とその課題について、A4判1ページ程度で作成してください。 ※令和4年度全国学力・学習状況調査において、観察や実験をする授業の頻度が減少しているという結果を受けて、新型コロナウイルス感染症対策に係る各教育委員会・各学校における取組等を参加者に共有するために協議を実施します。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・取組については、参加者の参考となるよう、写真等を掲載するなど具体的に示してください。 ・写真を使用する場合には、顔や名札等の個人を識別することができる情報を隠す等の加工を行うことにより、児童等のプライバシーに十分配慮してください。 ・学校名や個人名などを明らかにする場合には、必ず事前に許可を得るようお願いします。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編」
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 生活部会

協議①			
	協議題		生活科における思考力、判断力、表現力等の基礎の育成に向けて、教育委員会として求められる取組について
	提出資料		生活科における思考力、判断力、表現力等の基礎の育成に向けて、各都道府県・指定都市で実施した指導・助言(附属学校等については学校としての取組)について、以下の項目によりA4判1ページ程度でまとめてください。 (1) 指導・助言の対象とした授業実践事例の概要 (2) (1)に係る具体的な指導・助言の内容
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・「授業実践事例」については内容(1)～(9)を明記してください(グループ分けに用います)。 ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)
協議②			
	協議題		内容(8)「生活や出来事の伝え合い」の授業実践の充実に向けて、教育委員会として求められる取組について
	提出資料		内容(8)「生活や出来事の伝え合い」の授業実践の充実に向けて、各都道府県・指定都市で実施した指導・助言(附属学校等については学校としての取組)について、以下の項目によりA4判1ページ程度でまとめてください。 (1) 指導・助言の対象とした授業実践事例の概要、成果と課題 (2) (1)に係る具体的な指導・助言の内容
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意) ※参考資料:初等教育資料2022年10月号(9/25刊行予定)の特集Ⅱ
その他部会当日に手元を用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_006.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 生活】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_seikat.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 音楽部会

協議①			
協議題		小学校音楽科における「主体的・対話的で深い学び」の視点及び「音楽的な見方・考え方」を手掛かりとした授業改善	
提出資料		・各地域における小学校音楽科の授業実践や研修等で効果があった、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や、「音楽的な見方・考え方」を働かせる学習に向けた授業づくりについて、A4判2ページ以内に項目を立ててまとめてください。なお、「主体的・対話的で深い学び」又は「音楽的な見方・考え方」のいずれかでもかまいません。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・各都道府県・指定都市において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白（原則として資料上部）に部会名、都道府県・指定都市名（学校名）及び都道府県・指定都市番号を記入してください。（様式は任意）	
その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）			
提出資料		・小学校音楽科に関して新型コロナウイルス感染症対策として、6月の連絡協議会以降、新たに周知したことがあれば提出してください。	
作成様式		任意様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・域内の市町村教育委員会や学校に通知・配布した資料等をそのまま提出してかまいません。提出用に新たに作成する必要はありません。ただし、1枚目の余白（原則として資料上部）に、部会名、都道府県・指定都市名（学校名等）及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_007.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_ongak.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 図画工作部会

協議①			
協議題		図画工作科における授業改善の実際	
提出資料		提出資料①「指導と評価の一体化を図った実践事例」 学習指導要領全面実施3年目となり、各学校において、子供たちが「どのように学ぶか」という学びの質を重視した授業改善、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実に取り組んでいただいているところです。 そこで、各都道府県・指定都市における具体的な実践事例をA4判2ページ程度にまとめてください。その際、どのように学習評価を進め、授業改善を行ったか、ポイントがわかるようにしてください。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		領域、学年、形式は問いません。次のことが分かるように記述してください。 ・題材名 ・実践学年 ・題材の目標 ・題材の概要(題材設定や指導の工夫について) ・題材の評価規準 ・指導と評価の計画 ・授業展開(本時のみでも可) ・成果と課題(※) など ※ 成果と課題については、「学習評価を授業改善にどのようにつなげたか」、「学習評価を今後どのように授業改善につなげていくか」を中心に記述してください。	
協議②			
協議題		図画工作科における授業改善のために	
提出資料		提出資料②「事例を基にした改善策について」 提出資料①の事例について、好事例とした理由(事例の評価)とともに、今後、「指導と評価の一体化」の周知、指導に際して取り組んでいきたいことなどをA4判1ページ程度にまとめてください。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		項立ては任意とします。次のようなことについて記述ください。 ・提出資料①の事例について、「指導と評価の一体化」に関して具体的にどのような点がよかったか。 ・同事例について、従前の指導に比べて、どのような点で指導の改善が図られていたか。 ・同事例について、更にどのような点に留意するとよいと考えたか。 ・今後、更なる指導と評価の一体化と、授業改善を進めていくために、周知・指導に関してどのようなことに取り組んでいきたいか。 など ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)	
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_008.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 図画工作】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_zugak.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 家庭部会

協議①			
	協議題		消費者教育の充実に向けて
	提出資料		内容「C消費生活・環境」(1)物や金銭の使い方と買物の実践事例について、以下の項目によりA4判6ページ以内でまとめてください。 ①実施学年、題材名、題材の目標、題材の評価規準、指導と評価の計画 ②授業の様子が伝わる資料(写真、ワークシート、記録など) ③事例についての考察(成果と課題)
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・好事例を1つご紹介ください。 ・上記①～③について、項立てして記載してください。なお、上記①～③以外の事項についても、適宜項立ての上、記載いただいて構いません。 ・上記②については、別様式での提出も可としますが、その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
協議②			
	協議題		学習指導要領の「よりよい実施」を目指した取組の成果と課題
	提出資料		学習指導要領の「よりよい実施」を目指すため、本年6月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」のグループ協議で取り上げたテーマに係るその後の取組状況について、以下の項目によりA4判2ページ以内でまとめてください。 ①取り組んだテーマ ②取組内容の具体(指導内容、研修の様子、画像、作成資料など) ③取組を振り返って(成果と課題)
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・本年6月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」のグループ協議で取り上げたテーマから変更があっても構いません。 ・本年6月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」に出席していない場合は、学習指導要領の「よりよい実施」を目指して本年4月以降に取り組んだ内容についてまとめてください。 ・まだ具体的な取組が実施できていない場合は、今後の予定(計画)についてまとめてください。 ・上記①～③について、項立てして記載してください。なお、上記①～③以外の事項についても、適宜項立ての上、記載いただいて構いません。 ・上記②については、別様式での提出も可としますが、その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。 ・上記③について、成果が得られていない場合は、課題のみの報告で構いません。
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料		消費者教育の充実に向けた各教育委員会等における取組の具体について、以下の項目によりA4判2ページ以内でまとめてください。 ①指導、支援、研修の具体 ②取組の成果と課題
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・既存の資料がある場合は、別様式での提出も可としますが、その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_009.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 家庭】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_katei.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 体育部会

協議①			
		協議題	「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けた指導助言のポイント
		提出資料	運動領域と保健領域それぞれについて、「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向け、指導主事等として指導・助言をする際のポイントを整理し、A4判2ページ程度にまとめてください。 ※指導・助言の機会がない方は、授業を振り返る際のポイントをまとめてください。
		作成様式	別紙様式3 ※共通様式
		提出資料作成に当たっての留意事項	・「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けて、域内市町村教育委員会や学校等に対する指導・助言をする際のポイント(授業の場面や指導・助言の内容等)について、適宜項目を立て、できるだけ具体的に記載してください。 ・協議会当日は、以下の内容を予定しています。 ①「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けた指導・助言のポイントについて、各グループ内でブレインストーミングなどにより整理する。 ②各グループで指定された『指導と評価の計画』をもとに、①を踏まえて具体的な指導・助言の場面と内容等について協議する。 ③②の協議内容について、全体で情報共有する。 ・上記②の『指導と評価の計画』及びグループ編成については、10月下旬頃にスポーツ庁政策課企画調整室からお知らせします。なお、『指導と評価の計画』は、全国都道府県・指定都市教育委員会学校体育担当指導主事研究協議会(9月開催)で作成した資料を用いる予定です。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説体育編 文部科学省
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_010.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 体育 (令和2年3月)国立教育政策研究所
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_taiku.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会

【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 道徳部会

協議①

協議題	道徳教育推進教師等の育成方策について		
提出資料	・各学校の道徳教育推進教師や地域の道徳教育を推進するリーダーを育成するための取組（具体的な実践など）に係る以下の事項について、A4判1～2ページ程度で簡潔にまとめてください。 ① 全教育活動を通じて行う道徳教育を推進するための道徳教育推進教師及び地域の道徳教育を推進するリーダーに求められる役割とその育成方策について ② ①の要となる道徳科の授業の充実を図るための道徳教育推進教師及び地域の道徳教育を推進するリーダーに求められる役割とその育成方策について		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	・「育成方策」については、令和3年度道徳教育実施状況調査報告書の関連記述（第4章の4.2.2など）も参照の上で、適宜、学校に求められる取組／教育委員会等として実施すべき支援策、既存の取組・支援策／域内の課題等を踏まえ今後実施すべきと考えられる取組・支援策などに整理して記述してください。 ・取組・支援策の概要が分かる既存資料があれば、適宜、上記「提出資料」に参考資料として添付していただいても構いません。		

協議②

協議題	特色ある道徳教育の推進方策について		
提出資料	・各学校や地域の特色ある道徳教育を推進するための取組（具体的な実践など）に係る以下の事項について、A4判1～2ページ程度で簡潔にまとめてください。 ① 児童の実態や地域の特色、現代的な課題等を踏まえた特色ある道徳教育を推進するに当たり、そのカリキュラム・マネジメントを効果的に進める方策等について ② ①の要となる道徳科の授業について、その充実を図るための教材の活用方法について		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	・「教材の活用方法」については、令和3年度道徳教育実施状況調査報告書の関連記述（第4章の4.3.1など）も参照の上で作成してください。 ・適宜、学校に求められる取組／教育委員会等として実施すべき支援策、既存の取組・支援策／域内の課題等を踏まえ今後実施すべきと考えられる取組・支援策などに整理して記述してください。 ・取組・支援策の概要が分かる既存資料があれば、適宜、上記「提出資料」に参考資料として添付していただいても構いません。		

その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）

提出資料	各地域における小・中学校道徳教育の実践的知見の見える化・共有化を図るために教育委員会等として実施する（予定の）デジタル・アーカイブ等の取組があれば、その概要（媒体、コンテンツの具体、収集方法、活用方法等）をA4判1～2ページ程度にまとめてください。		
作成様式	任意		
提出資料作成に当たっての留意事項	・中学校道徳部会と共通の「その他提出資料」とします。 ・「デジタル・アーカイブ等の取組」として、文部科学省「道徳教育アーカイブ」の地域版をイメージしています。「道徳教育アーカイブ」のように専用サイトを設ける形態のものでなくとも、同様の趣旨・目的によるオンライン・ICTを活用した取組は幅広く対象としてください。 ※道徳教育アーカイブ： https://doutoku.mext.go.jp/ ・適宜、上記「提出資料」に参考資料を添付していただいても構いません。		

その他部会当日に手元に用意しておく持参資料

①	資料名	『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』	
	用意しておく箇所	『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』は、資料全体 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』は、第3章第6節	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_012.pdf https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_001.pdf	
	資料名	令和3年度 道徳教育実施状況調査（報告書）	
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://doutoku.mext.go.jp/pdf/survey_report_r3.pdf	
②	資料名	令和3年度 道徳教育実施状況調査（報告書）	
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://doutoku.mext.go.jp/pdf/survey_report_r3.pdf	

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 外国語活動・外国語部会

協議①		
	協議題	言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指したデジタル教科書の活用について
	提出資料	①小学校の外国語科において、言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指したデジタル教科書の活用について、現段階での成果、課題、今後の指導・助言の方向性について、A4判1ページでまとめてください。 ②小学校の外国語科において、言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指した、デジタル教科書を活用した好事例について、A4判1ページでまとめてください。
	作成様式	①別紙様式3 ※共通様式 ②別紙様式9
	提出資料作成に当たったの留意事項	・各都道府県及び指定都市において作成し、市区町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料について、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。 ・児童や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するための手立ての一つとして、学習指導においてデジタル教科書を効果的に活用することが重要です。単なる活用事例ではなく、言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実につながっている好事例と、好事例と考える理由を記載してください。
協議②		
	協議題	小学校外国語教育の更なる充実を目指した「英語教育改善プラン」について
	提出資料	昨年度と今年度(令和3・4年度)の「英語教育改善プラン」を基に、小学校外国語教育(外国語活動・外国語科)における成果と課題を分析した上で、今後の方向性について、A4判1ページでまとめてください。
	作成様式	別紙様式10
	提出資料作成に当たったの留意事項	・外国語教育の充実を図る上では、「英語教育改善プラン」を基にPDCAを回していくことが重要です。そのために、小学校外国語教育における成果と課題の分析を2つ以上の視点から行い、その分析に基づいて今後、どのように手立て(施策等)を講じていくかについてまとめてください。 ・例えば、分析の視点として、「教師の指導力」「ICTの活用」「CAN-DOリスト形式による学習到達目標の活用」「小中連携」「地域間格差」「専科教員」「ALT等の活用」等が考えられます。都道府県及び指定都市の状況に合わせて分析を行ってください。
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
	提出資料	学校外における自主的・自発的な学習意欲の向上を図るために、①外国語指導助手(ALT)や英語が堪能な地域人材の効果的な活用(例:ALTを指導者とする課外活動を行う 等)、②1人1台端末を活用した海外との交流の事例があれば、それぞれ紹介をしてください。 ※①②のうち、1つでも事例があれば紹介をしてください。分量は問いません。提出は任意とします。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たったの留意事項	・資料を作成する上で、令和4年8月8日に公表された「英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて(アクションプラン)」のうち、「1. 学校英語教育の底上げ ④学校外における自主的・自発的な学習意欲の向上」を参考にしてください。
部会当日までに読んで理解しておく資料	資料名	6月に実施した指導主事連絡協議会でお伝えし、事後配布資料でもお示した以下の資料(当日、持参いただく必要はありませんが、事前に読んで理解をしておいてください。) ①令和元年9月15日発行『初等教育資料 2019年9月号』 「特集Ⅰ: 資質・能力の育成 ―「見方・考え方」を働かせることを通して―」 ②小学校学習指導要領及び解説に記されている、全教科等の目標と「見方・考え方」に関する部分 ③文部科学省発信「学習者用デジタル教科書」に関する資料、動画 ④「個別最適な学び」「協働的な学び」に関する資料 ア)「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」(令和3年3月版) イ)「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月26日中央教育審議会答申) ウ)「教育課程部会における議論のまとめ」(令和3年1月25日教育課程部会)
	インターネットでの掲載場所	③ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/seido/1407731.htm ④ ア)https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext_01317.html イ)https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm ウ)https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/mext_00629.html
用意部会当日に持参する資料	資料名	英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて(アクションプラン) ※令和4年8月8日に文部科学大臣より発表。
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220808-mxt_kouhou01-000024386_01.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小中学校 総合的な学習の時間部会

協議①

協議題	域内全ての小・中学校で総合的な学習の時間が充実するために、教育委員会として求められる取組について
提出資料	域内全ての小・中学校で総合的な学習の時間が充実するために、各都道府県・指定都市で実施した取組(附属学校等については学校としての取組)について、以下の項目によりA4判1ページ程度でまとめてください。 (1) 具体的な取組事例 (2) 小・中学校間の連携
作成様式	別紙様式3 ※共通様式
提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)

協議②

協議題	「考えるための技法」を活用した授業実践の成果と課題を踏まえ、更なる改善・充実に向けて教育委員会として求められる取組について
提出資料	「考えるための技法」を効果的に活用した学習活動とするために、各都道府県・指定都市で実施した指導・助言(附属学校等については学校としての取組)について、以下の項目によりA4判1ページ程度でまとめてください。 (1) 小学校の授業実践事例の概要と指導・助言の内容 (2) 中学校の授業実践事例の概要と指導・助言の内容
作成様式	別紙様式3 ※共通様式
提出資料作成に当たっての留意事項	・少なくとも片方の「授業実践事例」はICT端末を活用した事例としてください。 ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。(様式は任意)

その他部会当日に手元に用意しておく持参資料

①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編	
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf	
		https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_012.pdf	
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 総合的な学習の時間】 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 総合的な学習の時間】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sougo.pdf
	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_sougo.pdf		
	③	資料名	今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)
用意しておく箇所		資料全体	
インターネットでの掲載場所		https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm	

令和4年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 特別活動部会

協議①			
	協議題	主権者として積極的に社会参画するための資質・能力を育む指導の工夫	
	提出資料	主権者教育の視点を踏まえた特別活動の指導の充実について、これまで教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例についてA4判2ページまでにまとめてください。	
	作成様式	別添様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・学級活動(1)、児童会活動、クラブ活動のいずれか、または全てを取り上げてください。 ・R3年度の研究協議会では「自治的能力の育成」に重点を置きましたが、今回は「主権者教育の視点」に重点を置いて資料を作成してください。 ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
協議②			
	協議題	学校生活の充実と発展に資する学校行事の工夫	
	提出資料	学校行事の工夫について、例えば、「児童による自主的・実践的な活動が助長される指導の工夫」、「学校の創意工夫を生かしたカリキュラム・マネジメントの充実」、「(学校行事の種類や内容に応じて)児童会の組織を活用した計画・運営の工夫」等の視点を踏まえ、これまでに教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例についてA4判2ページまでにまとめてください。	
	作成様式	別添様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有するもの)			
	提出資料	「小学校特別活動映像資料 学級活動編」及び解説パンフレット(令和4年3月、国立教育政策研究所)の活用を促すための方策、活用状況等について、A4判1ページ程度にまとめてください。	
	作成様式	任意(共通様式でも可)	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・域内の学校における活用の好事例があれば併せて紹介してください。 ・1ページ目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
		用意しておく箇所	資料全体(データ可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/13/1387017_014.pdf
	②	資料名	「主権者として求められる力」を子どもたちに育むために:小・中学校向け主権者教育指導資料(データ可) (※9月中下旬頃、文部科学省HPIにて公開予定)
		用意しておく箇所	資料全体(データ可)
		インターネットでの掲載場所(予定)	各教科等に関係する教材や資料集等のウェブサイトについて>主権者教育 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1394142.htm
	③	資料名	・小学校特別活動指導資料「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動」 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校特別活動 ・小学校特別活動映像資料 学級活動編、解説パンフレット
		用意しておく箇所	資料全体(データ可) ※映像資料については、解説パンフレットのみでも可
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html ※「小学校特別活動映像資料 学級活動編」については、可能であれば事前に視聴してください。

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 国語部会			
協議①			
	協議題	中学校国語科における指導と評価の一体化(「書くこと」に関する指導と評価)	
	提出資料	○貴管内における中学校国語科の実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述してください。 (1)「書くこと」の資質・能力の確実な育成に向けた指導と評価における実践上の課題 (2)(1)で挙げた課題の解決に向けた取組	
	作成様式	任意様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。A4判2ページ以内でお願いします。 ・「課題の解決に向けた取組」については、既に実施している取組に限定するものではありません。今後、課題解決に向けて実施する必要があると考えられる取組を記載していただいても構いません。資料作成の際に、既に実施している取組なのか、今後実施すべきと考えられる取組なのかということが分かるように記載してください。	
協議②			
	協議題	学習指導要領を踏まえた中学校国語科の授業づくりの実際(「書くこと」に関する指導)	
	提出資料	○学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、「書くこと」の指導事項イ又はウに重点を置いて指導している実践事例を学習指導案の形式でまとめ、1事例提出してください(学年は問わない)。その際、[知識及び技能]のどの指導事項と関連付けているかを明確にし、当該事例のポイントを一文で1ページ目の冒頭に示してください。	
	作成様式	任意様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・学習指導案の様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。A4判4ページ以内でお願いします。 ・実践事例の提出が困難な場合は、教育委員会等で作成した指導事例、指導主事が考えた指導事例やアイデア例でも構いません。 ・できる限り、「生徒が学習活動に取り組む際」又は「教師が指導と評価の一体化を図る際」に、1人1台端末を効果的に活用した事例としてください。	
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_002.pdf
	②	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編
		用意しておく箇所	特に91ページから94ページまで(第3の2「学習評価の充実」に関する箇所)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_001.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 社会部会

協議①			
	協議題		「課題を追究したり解決したりする活動」の充実に向けた問いの構造化や学習評価の工夫の具体的な周知、及び周知上の課題と対応等について
	提出資料		3分野の「指導と評価の計画」の事例をそれぞれA4判2ページ程度で作成してください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		<ul style="list-style-type: none">・各事例の冒頭に分野名を記載するようにしてください。・「指導と評価の計画」の作成に当たっては、以下に留意してください。①単元は、中項目をそのまま、または、中項目を分割したり統合したりするなどして設定してください。②単元の評価規準は、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料巻末の「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を参考に、事例に則して具体化して作成してください。③単元全体に関わる問いと細分化された単元の問いなどとの関係を意識し、構造化した「問い」を示してください。・「思考・判断・表現」の評価場面については、ワークシートを活用した実践など、具体的に記載してください。・提出する「指導と評価の計画」については、例えば、令和3年度各教科等教育課程研究協議会における提出資料などを基に、本年6月の連絡協議会での協議内容を踏まえて、ブラッシュアップして作成したり、各県等教育センターが実施する研修で示された「指導と評価の計画」を活用して作成したりすることも考えられます。・ワークシートや資料などを添付する場合は、それぞれ3ページ目以降に記載してください。ただし、別ファイルでの提出も可とします。
協議②			
	協議題		主権者として求められる資質・能力を育む教育の推進に関する取組の状況について
	提出資料		<u>※提出資料は不要です。</u> 当日は、①教科固有の特色を踏まえた主権者教育に関する取組、②「内容のまとまり」を見通す中で主権者意識を涵養する指導と評価の工夫などについて、事例発表の後に、協議を行います。
	作成様式		
	提出資料作成に当たっての留意事項		
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 社会】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaiatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_shakai.pdf
	③	資料名	「主権者として求められる力」を子どもたちに育むために：小・中学校向け主権者教育指導資料（※9月中下旬頃、文部科学省HPにて公開予定）
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所（予定）	【文部科学省HP】 各教科等に関係する教材や資料集等のウェブサイトについて＞主権者教育 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1394142.htm

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 数学部会			
協議①			
	協議題		全国学力・学習状況調査の調査結果等を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた取組について
	提出資料		域内における全国学力・学習状況調査の調査結果等を踏まえた学習指導の改善・充実についての課題と、それらへの対応(効果的な施策、研修、指導資料等)について、その要点を記載し、A4判2ページ以内にまとめてください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料や、授業実践例の指導計画、指導案など関連する資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、多くても5ページ程度以内とし、1枚目の余白(原則として資料上部)に、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
協議②			
	協議題		数学的活動の一層の充実に向けた課題とその対応について
	提出資料		・中学校数学科における数学的活動の一層の充実に関して、今までに把握している①各学校における取組や研修等から明らかになった課題とその対応 及び ②「数学的活動の一層の充実」を目指した具体的な授業実践例について、その要点を記載し、A4判2ページ以内にまとめてください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料や、授業実践例の指導計画、指導案など関連する資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、多くても5ページ程度以内とし、1枚目の余白(原則として資料上部)に、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編
		用意しておく箇所	資料全体 データとして手元にあればよい。
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm
	②	資料名	令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【中学校】数学
		用意しておく箇所	資料全体 データとして手元にあればよい。
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/report/middle_math.html

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 理科部会			
協議①			
		協議題	「探究の過程を振り返る」という探究の学習過程を踏まえた指導と評価の事例について
		提出資料	第3学年の探究の過程で主に重視する「探究の過程を振り返る」を踏まえた指導と評価の事例について、以下①～③の構成によりA4判4ページ程度(上限6ページ)で作成してください。 ①「(「探究の過程を振り返る」の観点が入った)単元の指導と評価の計画」(A4判2ページ程度) ②「授業の概要(学習指導案など)」(A4判1ページ程度) ③「①単元の指導と評価の計画」及び「②授業の概要」を基に、「探究の過程を振り返る」場面において、どのような資質・能力の育成を目指して、どう学習評価を行うのか、できる限り具体的に記載(A4判1ページ程度)
		作成様式	別紙様式3 ※共通様式
		提出資料作成に当たったの留意事項	・事例は1つとしてください。なお、内容は、第1・2学年のものでも差し支えありません。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 音楽部会

協議①			
協議題		中学校音楽科における「主体的・対話的で深い学び」の視点及び「音楽的な見方・考え方」を手掛かりとした授業改善	
提出資料		・各地域における中学校音楽科の授業実践や研修等で効果があった、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や、「音楽的な見方・考え方」を働かせる学習に向けた授業づくりについて、A4判2ページ以内に項目を立ててまとめてください。なお、「主体的・対話的で深い学び」又は「音楽的な見方・考え方」のいずれかでもかまいません。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白（原則として資料上部）に部会名、都道府県・指定都市名（学校名）及び都道府県・指定都市番号を記入してください。（様式は任意）	
その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）			
提出資料		・中学校音楽科に関して新型コロナウイルス感染症対策として、6月の連絡協議会以降、新たに周知したことがあれば提出してください。	
作成様式		任意様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・域内の市町村教育委員会や学校に通知・配布した資料等をそのまま提出してかまいません。提出用に新たに作成する必要はありません。ただし、1枚目の余白（原則として資料上部）に、部会名、都道府県・指定都市名（学校名等）及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他部会当日に手元 用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220419-mxt_kyoiku02-100002608_06.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_ongak.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 美術部会

協議①

協議題	中学校美術科における授業改善の実際		
提出資料	提出資料①「指導と評価の一体化を図った実践事例」 学習指導要領全面実施2年目になり、各学校において、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の実践が行われているところです。 そこで、各都道府県・指定都市における具体的な実践事例をA4判2ページ程度にまとめてください。その際、どのように学習評価を進め、授業改善を行ったか、ポイントがわかるようにしてください。		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	領域、学年、形式は問いません。次のことが分かるように記述してください。 ・題材名 ・実践学年 ・題材の目標 ・題材の概要（題材設定や指導の工夫について） ・題材の評価規準 ・指導と評価の計画 ・授業展開（本時のみでも可） ・成果と課題（※） など ※「成果と課題」については、学習評価を授業改善にどのようにつなげたか、または、今後どのように授業改善につなげるかを中心に記述してください。		

協議②

協議題	中学校美術科における授業改善のために		
提出資料	提出資料②「事例を基にした改善策について」 提出資料①の事例について、好事例とした理由（事例の評価）とともに、今後、「指導と評価の一体化」の周知、指導に際して取り組んでいきたいことなどをA4判1ページ程度にまとめてください。		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	項立ては任意とします。次のようなことについて記述ください。 ・提出資料①の事例について、「指導と評価の一体化」に関して具体的にどのような点がよかったか。 ・同事例について、従前の指導に比べて、どのような指導の改善が図られていた。 ・同事例について、更にどのような留意するとよいと考えたか。 ・今後、更なる指導と評価の一体化と、授業改善を進めていくために、周知・指導に関してどのようなことに取り組んでいきたいか。 など ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。その際、1枚目の余白（原則として資料上部）に、部会名、都道府県・指定都市名（学校名等）及び都道府県・指定都市番号を記入してください。（様式は任意）		

その他部会当日に手元
用意しておく持参資料

①	資料名	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編	
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_007.pdf	
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 美術】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_biiyut.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 保健体育部会

協議①			
	協議題		「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けた指導助言のポイント
	提出資料		体育分野と保健分野それぞれについて、「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向け、指導主事等として指導・助言をする際のポイントを整理し、A4判2ページ程度にまとめてください。 ※指導・助言の機会がない方は、授業を振り返る際のポイントをまとめてください。
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けて、域内市町村教育委員会や学校等に対する指導・助言をする際のポイント(授業の場面や指導・助言の内容等)について、適宜項目を立て、できるだけ具体的に記載してください。 ・協議会当日は、以下の内容を予定しています。 ①「子供たちが意欲的に取り組む授業づくり」に向けた指導・助言のポイントについて、各グループ内でブレインストーミングなどにより整理する。 ②各グループで指定された『指導と評価の計画』をもとに、①を踏まえて具体的な指導助言の場面と内容等を協議する。 ③②の協議内容について、全体で情報共有する。 ・上記②の『指導と評価の計画』及びグループ編成については、10月下旬頃にスポーツ庁政策課企画調整室からお知らせします。なお、『指導と評価の計画』は、全国都道府県・指定都市教育委員会学校体育担当指導主事研究協議会(9月開催)で作成した資料を用いる予定です。
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説保健体育編 文部科学省
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_008.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 保健体育 (令和2年3月)国立教育政策研究所
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_hokent.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 技術分野部会

協議①			
協議題		課題の設定及び設計・計画の学習の実践について	
提出資料		次の事項についてA4判2ページ以内で記載してください。 ①各内容の(2)及び内容「D情報の技術」の(3)で実施することを想定した、技術分野の学習過程における、「課題の設定」及び「技術に関する科学的な理解に基づいた設計・計画」での実践事例 ②実践を通して明らかになった課題 ※その他、必要な事項があれば追記して構いません。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・事例は複数でも構いません。 ・技術分野の学習過程は、技術・家庭の学習指導要領解説P.22～24を参照してください。 ・上記①の実践事例に見られる学習過程のうち、特に、技術に関わる問題を見いだす場面、課題を設定する場面、解決策を構想する場面(構想図、計画表、情報処理の手順を表す図を含む)、で生徒が使用するワークシート等があれば、積極的な資料提供をお願いいたします。その際は、別紙様式とは別に添付していただいて構いません。(上記で示したページ数には含みません。) ・各都道府県・指定都市教育委員会等において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意のものでも構いませんが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
協議②			
協議題		「統合的な問題」を扱った、技術による問題の解決の実践について	
提出資料		次の事項についてA4判2ページ以内で記載してください。 ①第3学年での統合的な問題を扱った「技術による問題の解決」の実践事例 ②実践を通して明らかになった課題 ※その他、必要な事項があれば追記して構いません。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・事例は複数でも構いません。 ・「統合的な問題について扱うこと」の詳細は、技術・家庭の学習指導要領解説P.22～24を参照してください。 ・各都道府県・指定都市教育委員会等において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意のものでも構いませんが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料		内容「D情報の技術」以外(内容AからC)の学習において実践された、技術分野ならではの1人1台端末等の活用事例について、A4判2ページ以内でまとめてください。 ※技術の工夫の読み取りや、設計、技術の評価など、技術分野特有の学習活動における1人1台端末等の活用事例とし、具体的な活用場面に加えて、技術分野で目指す資質・能力の育成にどのように効果があったのか、わかるように記載してください。	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		・他教科・科目の学習場面においても想定される活用事例や、「タイピングや、文書・表計算・プレゼンテーション等のアプリケーション使用の練習を行った」等の事例は不可とします。 ・各都道府県・指定都市教育委員会等において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意のものでも構いませんが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他部会当日に用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/13
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 技術・家庭
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-gijyut.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 家庭分野部会			
協議①			
	協議題		消費者教育の充実に向けて
	提出資料		内容「C消費生活・環境」(1)金銭の管理と購入又は(2)消費者の権利と責任の実践事例について、以下の項目によりA4判6ページ以内でまとめてください。 ①実施学年、題材名、題材の目標、題材の評価規準、指導と評価の計画 ②授業の様子が伝わる資料(写真、ワークシート、記録など) ③事例についての考察(成果と課題)
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・好事例を1つご紹介ください。(取り上げていただく事例は、C(1)又はC(2)のどちらか1つです。C(1)、C(2)をそれぞれ1事例、計2事例ということではありません。) ・上記①～③について、項立てして記載してください。なお、上記①～③以外の事項についても、適宜項立ての上、記載いただいて構いません。 ・上記②については、別様式での提出も可としますが、その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
協議②			
	協議題		学習指導要領の「よりよい実施」を目指した取組の成果と課題
	提出資料		学習指導要領の「よりよい実施」を目指すため、本年6月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」のグループ協議で取り上げたテーマに係るその後の取組状況について、以下の項目により、A4判2ページ以内でまとめてください。 ①取り組んだテーマ ②取組内容の具体(指導内容、研修の様子、画像、作成資料など) ③取組を振り返って(成果と課題)
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・本年6月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」のグループ協議で取り上げたテーマから変更があっても構いません。 ・本年6月の「各教科等担当指導主事連絡協議会」に出席していない場合は、学習指導要領の「よりよい実施」を目指して本年4月以降に取り組んだ内容についてまとめてください。 ・まだ具体的な取組が実施できていない場合は、今後の予定(計画)についてまとめてください。 ・上記①～③について、項立てして記載してください。なお、上記①～③以外の事項についても、適宜項立ての上、記載いただいて構いません。 ・上記②については、別様式での提出も可としますが、その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。 ・上記③について、成果が得られていない場合は、課題のみの報告で構いません。
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料		各教育委員会等における家庭分野を担当する教員の指導力を高める工夫について、以下の項目によりA4判2ページ以内でまとめてください。 ①指導、支援、研修(免許外教科担任教員、臨時免許状を取得し教科を担当している教員を対象とする研修を含む)の具体 ②取組の成果と課題
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・既存の資料がある場合は、別様式での提出も可としますが、その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。
その他部会当日に 用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-gijyut.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 外国語部会

協議①		
	協議題	言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指したデジタル教科書の活用について
	提出資料	①中学校の外国語科において、言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指したデジタル教科書の活用について、現段階での成果、課題、今後の指導・助言の方向性について、A4判1ページでまとめてください。 ②中学校の外国語科において、言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指した、デジタル教科書を活用した好事例について、A4判1ページでまとめてください。
	作成様式	①別紙様式3 ※共通様式 ②別紙様式11
	提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県及び指定都市において作成し、市区町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料について、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。 ・生徒や学校等の実態に応じ、各教科の特質や学習過程を踏まえて、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成する手立ての一つとして、学習指導においてデジタル教科書を効果的に活用することが重要です。単なる活用事例ではなく、言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実につながっている好事例と、好事例と考える理由を記載してください。
協議②		
	協議題	中学校外国語教育の更なる充実を目指した「英語教育改善プラン」について
	提出資料	昨年度と今年度(令和3・4年度)の「英語教育改善プラン」を基に、中学校外国語教育における成果と課題を分析した上で、今後の方向性について、A4判1ページでまとめてください。
	作成様式	別紙様式12
	提出資料作成に当たっての留意事項	・外国語教育の充実を図る上では、「英語教育改善プラン」を基にPDCAを回していくことが重要です。そのために、中学校外国語教育における成果と課題の分析を4つの視点で行い、その分析に基づいて今後、どのように手立て(施策等)を講じていくかについてまとめてください。 【分析の視点】 ①「言語活動」・・・必須事項 ②「教師の英語力」・・・必須事項 ③④都道府県及び指定都市の状況に合わせた視点 (例:「ICTの活用」「CAN-DOリスト形式による学習到達目標の活用」「小中連携」「地域間格差」「ALT等の活用」等)
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
	提出資料	学校外における自主的・自発的な学習意欲の向上を図るために、①外国語指導助手(ALT)や英語が堪能な地域人材の効果的な活用(例:ALTを指導者とする課外活動を行う 等)、②1人1台端末を活用した海外との交流の事例があれば、それぞれ紹介をしてください。 ※①②のうち、1つでも事例があれば紹介をしてください。分量は問いません。提出は任意とします。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	・資料を作成する上で、令和4年8月8日に公表された「英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて(アクションプラン)」のうち、「1. 学校英語教育の底上げ ④学校外における自主的・自発的な学習意欲の向上」を参考にしてください。
その他部会当日に用意しておく持参資料	資料名	英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて(アクションプラン) ※令和4年8月8日に文部科学大臣より発表。
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220808-mxt_kouhou01-000024386_01.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 道德部会

協議①

	協議題	中学校において自律的に道德教育を推進するための方策について	
	提出資料	・中学校において、各学校が自律的に道德教育を推進するための方策について協議するため、以下の事項についてA4判1～2ページ程度で簡潔にまとめてください。 ① 中学校において道德教育の推進を阻んでいると考えられる要因を、学校教育全体を通じて取り組む道德教育と「特別の教科 道德」に分けて挙げてください。 ② ①の要因を踏まえて、自律的に道德教育を推進・充実させるため中学校に求められる具体的かつ持続可能な取組(校内研修や具体的な実践など)を提案してください。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たったての留意事項	・各都道府県・指定都市においては、令和3年度道德教育実施状況調査の結果(自団体の回答)も参照の上で作成してください。 ・当日の研究協議においては、提出資料を基に、中学校に求められる各種取組に加え、そうした取組を促すために教育委員会等として実施すべき支援策についても一体的に協議を行い、グループで提案のブラッシュアップを図る予定です。	

その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)

	提出資料	※以下の資料を小学校道德部会と共通の「その他提出資料」としますが、 中学校道德部会としては提出不要 です。提出資料の詳細は小学校道德部会の様式を参照してください。 「各地域における小・中学校道德教育の実践的知見の見える化・共有化を図るために教育委員会等として実施する(予定の)デジタル・アーカイブ等の取組」	
	作成様式		
	提出資料作成に当たったての留意事項		

その他部会当日に手元に用意しておく持参資料

	①	資料名	『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道德編』 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』
		用意しておく箇所	『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道德編』は、資料全体 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』は、第3章第6節
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_001.pdf
	②	資料名	令和3年度 道德教育実施状況調査(報告書)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://doutoku.mext.go.jp/pdf/survey_report_r3.pdf

令和4年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 特別活動部会			
協議①			
	協議題	「学校行事」の指導の工夫について	
	提出資料	学校行事の指導の工夫について、例えば、「生徒の声を生かした学校行事」、「資質・能力育成に向けたカリキュラム・マネジメントの充実」、「学校行事の精選や重点化」等の視点を踏まえ、これまでに教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例についてA4判2ページまでにまとめてください。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
協議②			
	協議題	主権者教育の視点を踏まえた特別活動の指導の充実について	
	提出資料	主権者教育の視点を踏まえた特別活動の充実について、これまでの実践を踏まえ教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例についてA4判2ページまでにまとめてください。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出してください。なお、様式は任意ですが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。	
その他部会当日に手元に用意しておく持参資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
			「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 特別活動】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20210113-mxt_kyoiku01-100002608_2.pdf https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_tokubetsuk.pdf
	②	資料名	「主権者として求められる力」を子どもたちに育むために：小・中学校向け主権者教育指導資料(※9月中下旬頃、文部科学省HPにて公開予定)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所(予定)	各教科等に関係する教材や資料集等のウェブサイトについて＞主権者教育
			https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1394142.htm